

Ⅱ 調査結果

(大津市子どもの健康・生活実態調査)

1 世帯収入と生活等の実態

世帯収入と収入区分の考え方

世帯収入

	回答数	%
1 収入はない(0円)	10	0.4%
2 1～50万円未満	6	0.3%
3 50～100万円未満	7	0.3%
4 100～200万円未満	54	2.4%
5 200～300万円未満	96	4.2%
6 300～400万円未満	169	7.4%
7 400～500万円未満	245	10.7%
8 500～600万円未満	322	14.0%
9 600～700万円未満	275	12.0%
10 700～800万円未満	231	10.1%
11 800～900万円未満	191	8.3%
12 900万円以上	454	19.8%
13 わからない	106	4.6%
無効票	5	0.2%
無回答	126	5.5%
計	2,297	100.0%

収入の階層区分	構成比		
0～300万円未満	8.4	区分Ⅰ	最低生活水準を下回ると考えられる層
300～500万円未満	20.1	区分Ⅱ	区分Ⅰを上回るが中央値を下回る層
500～700万円未満	29.0	区分Ⅲ	平均値・中央値が含まれる層
700～900万円未満	20.5	区分Ⅳ	中央値を上回る層のうちの下位層
900万円以上	22.0	区分Ⅴ	中央値を上回る層のうちの上位層
	100.0		
※欠損値、無効回答、無回答を除く			

本調査では、分析にあたり、世帯の勤労収入の階層を5区分にしました。

【区分Ⅰ】は「0～300万円未満」の層で、全体の8.4%を占めています。本調査における子育て世帯の子ども数の平均数が2.2人であり、大津市の生活保護基準（父母子2人の4人世帯）が約300万円であることを参照し、【区分Ⅰ】はそれを下回る生活困窮層と考えられます。【区分Ⅱ】は「300～500万円未満」の層で、全体の20.1%を占めています。この層は、区分Ⅰと区分Ⅲの間に位置する層で、収入の平均値が含まれる層（500～600万円未満）及び中央値が含まれる層（600～700万円未満）より下回る層です。

【区分Ⅲ】は収入の平均値・中央値が含まれる層で、29.0%を占めています。【区分Ⅳ】は中央値を上回る層のうちの下位層、【区分Ⅴ】は中央値を上回る層のうちの上位層です。

※調査協力者 学校法人龍谷大学による分類

(1) 世帯収入とお住まいの状況 (保護者票問 16×保護者票問 18)

問 16 現在のお住まいの状況について教えてください

問 18 働いてる方全員のおおよその年間総収入はいくらですか

計	問16										合計	
	あなた・配偶者の持ち家		あなた・配偶者以外の家族の持ち家		民間の賃貸住宅		県営・市営などの公共賃貸住宅		その他		人数	%
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%		
区分Ⅰ	79	45.7%	34	19.7%	43	24.9%	14	8.1%	3	1.7%	173	100.0%
区分Ⅱ	339	81.9%	46	11.1%	23	5.6%	3	0.7%	3	0.7%	414	100.0%
区分Ⅲ	518	87.1%	36	6.1%	36	6.1%	2	0.3%	3	0.5%	595	100.0%
区分Ⅳ	366	87.6%	13	3.1%	28	6.7%	0	0.0%	11	2.6%	418	100.0%
区分Ⅴ	411	90.5%	15	3.3%	23	5.1%	0	0.0%	5	1.1%	454	100.0%
合計	1713	83.4%	144	7.0%	153	7.4%	19	0.9%	25	1.2%	2054	100.0%



住まいの状況について、収入区分別で見ると、区分Ⅰは「あなた・配偶者の持ち家」の割合が45.7%と、最も低い割合になっており、「県営・市営などの公共賃貸住宅」の割合が8.1%と最も高い割合になっています。

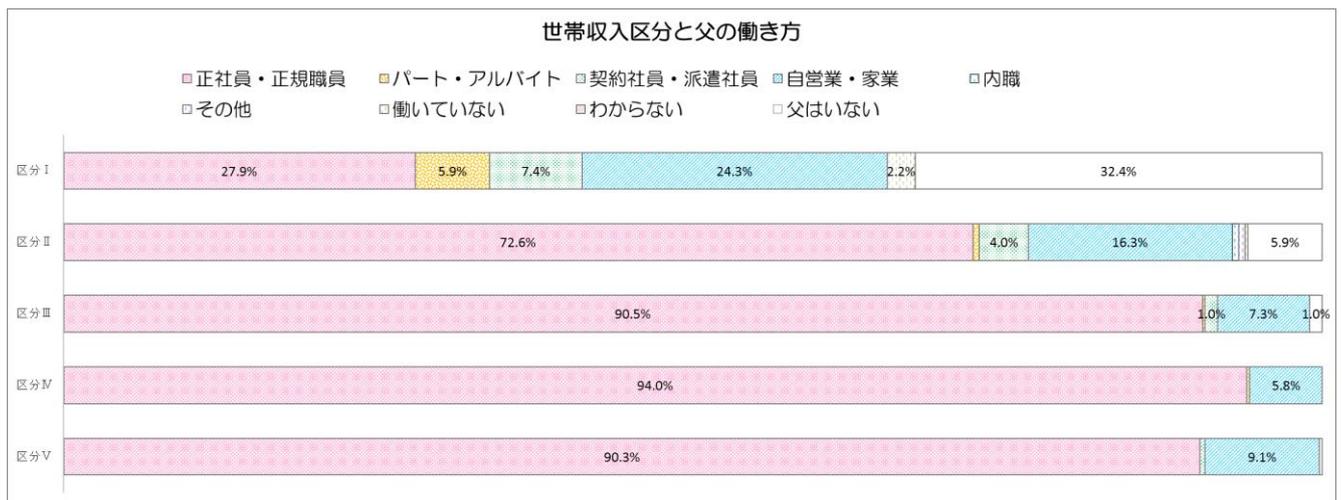
(2) 世帯収入区分と父の働き方 (保護者票問 17-①×保護者票問 18)

問 17-① 父の働き方

問 18 働いてる方全員のおおよその年間総収入はいくらですか

	問17-①													
	正社員・正規職員		パート・アルバイト		契約社員・派遣社員 など		自営業・家業		内職		その他		働いていない	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
計	1666	83.3%	12	0.6%	34	1.7%	207	10.4%	0	0.0%	2	0.1%	4	0.2%
区分Ⅰ	38	27.9%	8	5.9%	10	7.4%	33	24.3%	0	0.0%	0	0.0%	3	2.2%
区分Ⅱ	294	72.6%	2	0.5%	16	4.0%	66	16.3%	0	0.0%	2	0.5%	1	0.2%
区分Ⅲ	534	90.5%	1	0.2%	6	1.0%	43	7.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
区分Ⅳ	392	94.0%	1	0.2%	0	0.0%	24	5.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
区分Ⅴ	408	90.3%	0	0.0%	2	0.4%	41	9.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

	父の働き方				合計	
	わからない		父はいない		人数	%
	人数	%	人数	%		
計	0	0.0%	75	3.8%	2000	100.0%
区分Ⅰ	0	0.0%	44	32.4%	136	100.0%
区分Ⅱ	0	0.0%	24	5.9%	405	100.0%
区分Ⅲ	0	0.0%	6	1.0%	590	100.0%
区分Ⅳ	0	0.0%	0	0.0%	417	100.0%
区分Ⅴ	0	0.0%	1	0.2%	452	100.0%



父の働き方について、収入区分別で見ると、区分Ⅰは「正社員・正規職員」の割合が27.9%と最も低い割合になっており、「父はいない」の割合は、32.4%と最も高くなっています。

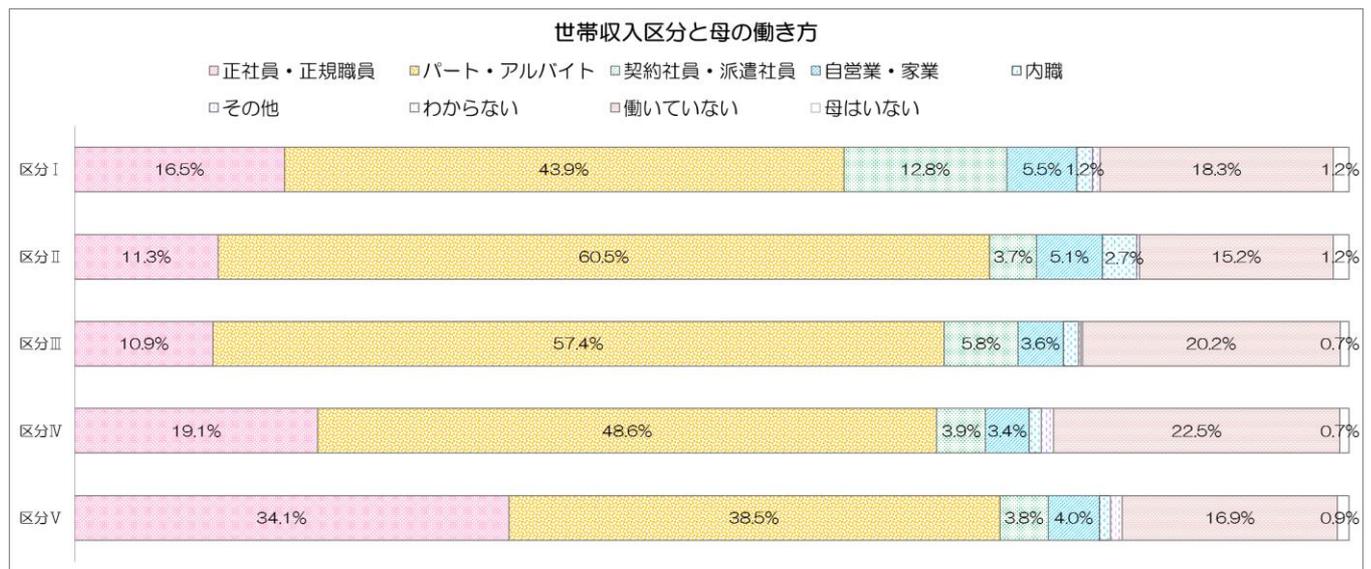
(3) 世帯収入区分と母の働き方 (保護者票問 17-②×保護者票問 18)

問 17-② 母の働き方

問 18 働いてる方全員のおおよその年間総収入はいくらですか

	問17-②													
	正社員・正規職員		パート・アルバイト		契約社員・派遣社員など		自営業・家業		内職		その他		わからない	
計	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
区分Ⅰ	27	16.5%	72	43.9%	21	12.8%	9	5.5%	2	1.2%	1	0.6%	0	0.0%
区分Ⅱ	46	11.3%	247	60.5%	15	3.7%	21	5.1%	11	2.7%	1	0.2%	0	0.0%
区分Ⅲ	64	10.9%	338	57.4%	34	5.8%	21	3.6%	7	1.2%	1	0.2%	1	0.2%
区分Ⅳ	79	19.1%	201	48.6%	16	3.9%	14	3.4%	4	1.0%	4	1.0%	0	0.0%
区分Ⅴ	153	34.1%	173	38.5%	17	3.8%	18	4.0%	4	0.9%	4	0.9%	0	0.0%
合計	369	18.2%	1031	50.9%	103	5.1%	83	4.1%	28	1.4%	11	0.5%	1	0.0%

計	働いていない		母はいない		合計	
	人数	%	人数	%	人数	%
区分Ⅰ	30	18.3%	2	1.2%	164	100.0%
区分Ⅱ	62	15.2%	5	1.2%	408	100.0%
区分Ⅲ	119	20.2%	4	0.7%	589	100.0%
区分Ⅳ	93	22.5%	3	0.7%	414	100.0%
区分Ⅴ	76	16.9%	4	0.9%	449	100.0%
合計	380	18.8%	18	0.9%	2024	100.0%



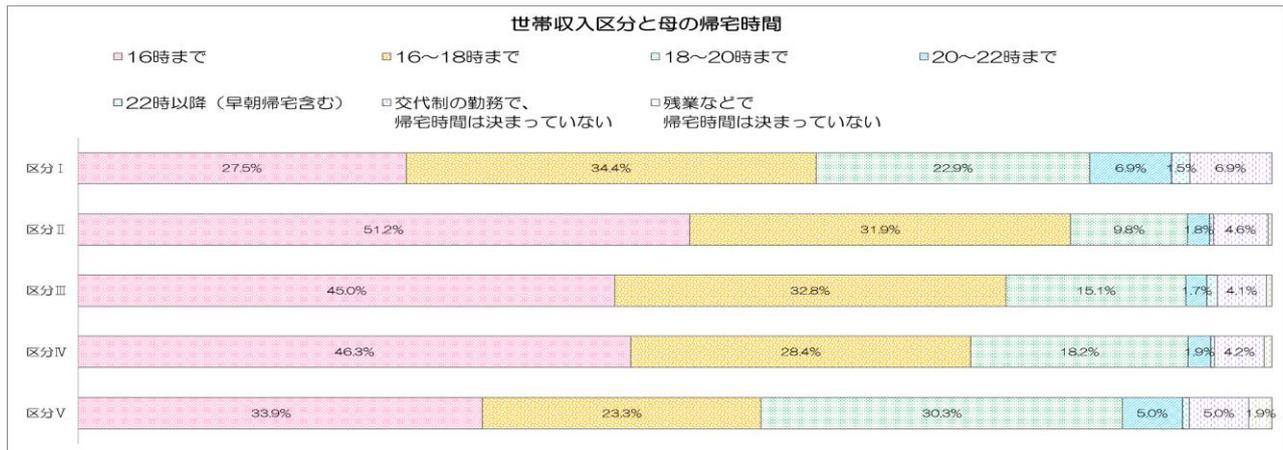
母の働き方について、収入区分別でみると、区分Ⅴは「正社員・正規職員」の割合が34.1%と最も高い割合になっており、区分Ⅰでも「正社員・正規職員」の割合は16.5%となっています。

(4) 世帯収入区分と母の帰宅時間 (保護者票問 17-1②×保護者票問 18)

問 17-1② 母の帰宅時間

問 18 働いてる方全員のおおよその年間総収入はいくらですか

	問17-1												合計			
	16時まで		16～18時まで		18～20時まで		20～22時まで		22時以降 (早朝帰宅含む)		交代制の勤務で 帰宅時間は決まってい ない				残業などで帰宅時 間は決まっていな い	
計	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
区分Ⅰ	36	27.5%	45	34.4%	30	22.9%	9	6.9%	2	1.5%	9	6.9%	0	0.0%	131	100.0%
区分Ⅱ	167	51.2%	104	31.9%	32	9.8%	6	1.8%	1	0.3%	15	4.6%	1	0.3%	326	100.0%
区分Ⅲ	206	45.0%	150	32.8%	69	15.1%	8	1.7%	4	0.9%	19	4.1%	2	0.4%	458	100.0%
区分Ⅳ	145	46.3%	89	28.4%	57	18.2%	6	1.9%	1	0.3%	13	4.2%	2	0.6%	313	100.0%
区分Ⅴ	122	33.9%	84	23.3%	109	30.3%	18	5.0%	2	0.6%	18	5.0%	7	1.9%	360	100.0%
合計	676	42.6%	472	29.7%	297	18.7%	47	3.0%	10	0.6%	74	4.7%	12	0.8%	1588	100.0%



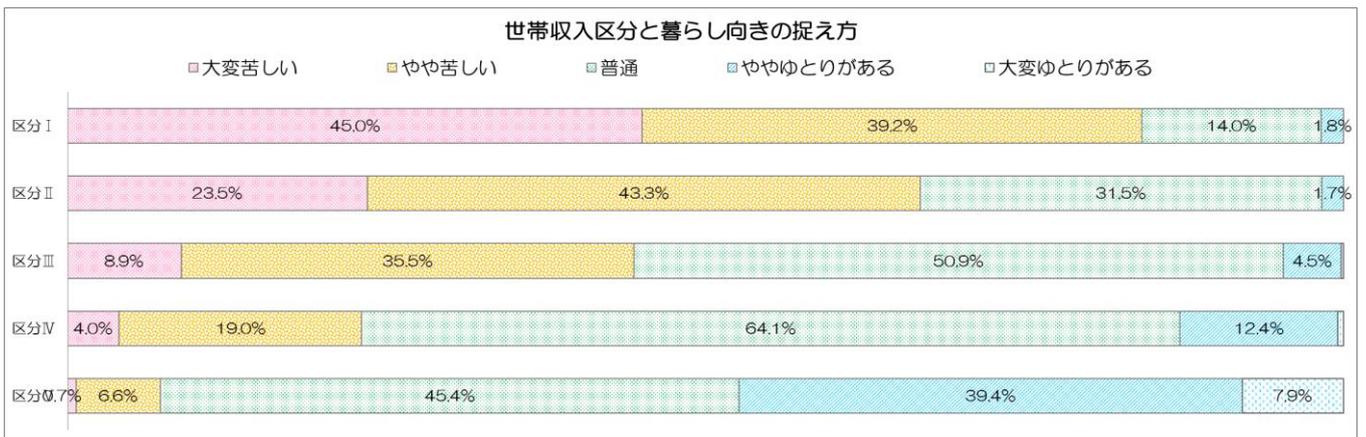
母の帰宅時間を収入区分別にみると、区分Ⅰについては「16～18時まで」が34.4%、「16時まで」が27.5%、「18～20時まで」が22.9%を占めています。区分Ⅱ～区分Ⅳ（パート・アルバイトの割合が5～6割程度と高い）では、「16時まで」が45.0～51.2%、「16～18時まで」が3割前後ですが、「18～20時まで」は収入区分が高くなるほど割合が増え、区分Ⅱで9.8%、区分Ⅲで15.1%、区分Ⅳで18.2%となっています。区分Ⅴ（3分の1が正社員・正規職員）では、「16時まで」が33.9%、「18～20時まで」が30.3%、「16～18時まで」が23.3%となっています。

(5) 世帯収入区分と暮らし向きへの捉え方 (保護者票問 18×保護者票問 19)

問 18 働いてる方全員のおおよその年間総収入はいくらですか

問 19 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか

	問19										合計	
	大変苦しい		やや苦しい		普通		ややゆとりがある		大変ゆとりがある			
計	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
区分Ⅰ	77	45.0%	67	39.2%	24	14.0%	3	1.8%	0	0.0%	171	100.0%
区分Ⅱ	97	23.5%	179	43.3%	130	31.5%	7	1.7%	0	0.0%	413	100.0%
区分Ⅲ	53	8.9%	211	35.5%	303	50.9%	27	4.5%	1	0.2%	595	100.0%
区分Ⅳ	17	4.0%	80	19.0%	270	64.1%	52	12.4%	2	0.5%	421	100.0%
区分Ⅴ	3	0.7%	30	6.6%	206	45.4%	179	39.4%	36	7.9%	454	100.0%
合計	247	12.0%	567	27.6%	933	45.4%	268	13.0%	39	1.9%	2054	100.0%



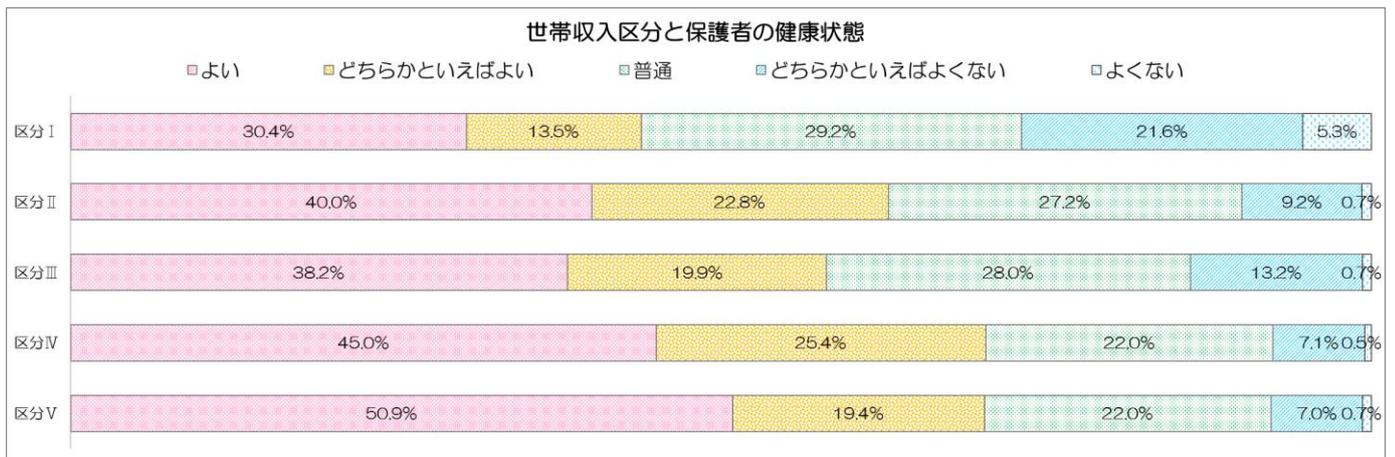
現在の暮らしの状況に関する意識について、収入区分別で見ると、区分Ⅰでは「大変苦しい」が45.0%と最も高くなっており、「やや苦しい」では、区分Ⅱが43.3%と最も高く、次に区分Ⅰが39.2%の順となっています。

(6) 世帯収入区分と保護者の健康状態 (保護者票問 18×保護者票問 20)

問 18 働いてる方全員のおおよその年間総収入はいくらですか

問 20 あなたの健康状態は次のうち、どれにあてはまりますか

計	問20										合計	
	よい		どちらかといえばよい		普通		どちらかといえばよくない		よくない		人数	%
区分Ⅰ	52	30.4%	23	13.5%	50	29.2%	37	21.6%	9	5.3%	171	100.0%
区分Ⅱ	165	40.0%	94	22.8%	112	27.2%	38	9.2%	3	0.7%	412	100.0%
区分Ⅲ	228	38.2%	119	19.9%	167	28.0%	79	13.2%	4	0.7%	597	100.0%
区分Ⅳ	190	45.0%	107	25.4%	93	22.0%	30	7.1%	2	0.5%	422	100.0%
区分Ⅴ	231	50.9%	88	19.4%	100	22.0%	32	7.0%	3	0.7%	454	100.0%
合計	866	42.1%	431	21.0%	522	25.4%	216	10.5%	21	1.0%	2056	100.0%



保護者の健康状態を収入区分別にみると、区分Ⅰでは「よい」が 30.4%と最も低くなっており、区分Ⅴが 50.9%と最も高くなっています。

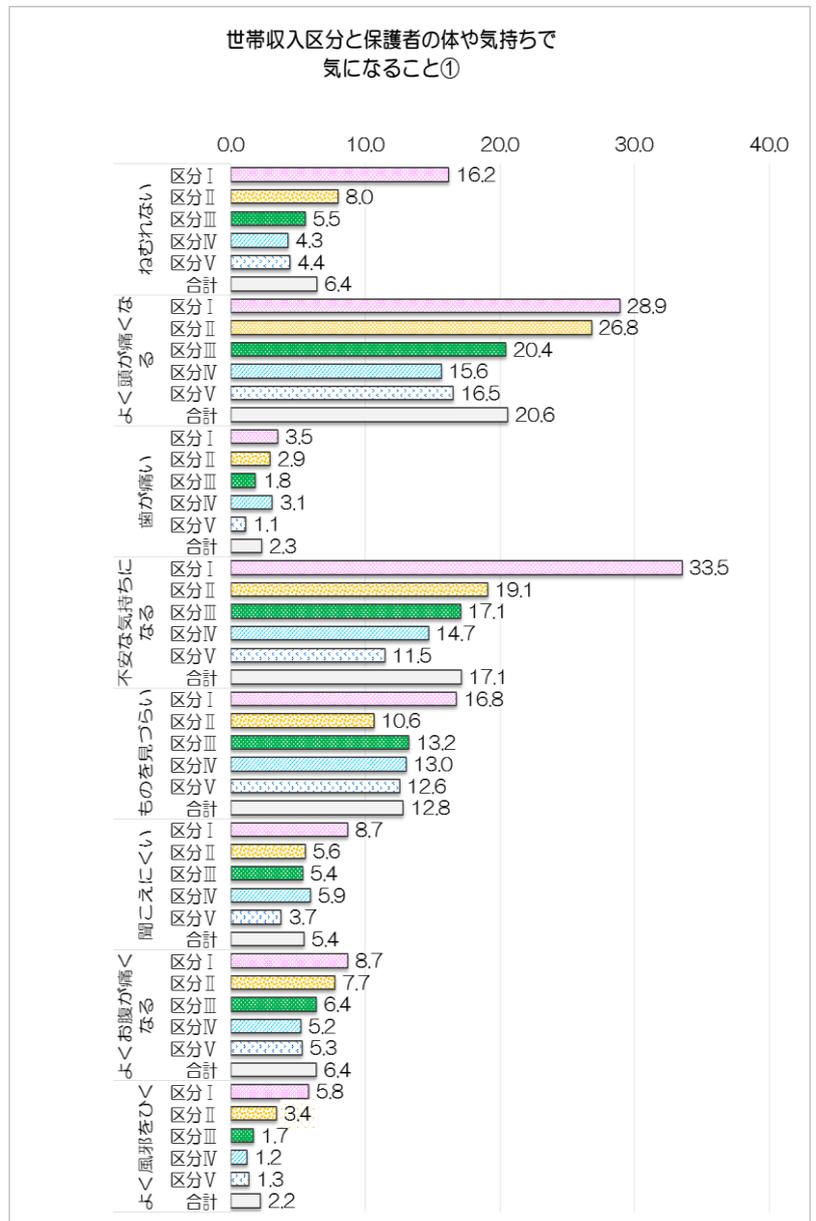
(7) 世帯収入区分と身体や気持ちで気になること(保護者)

(保護者票問 18×保護者票問 23)

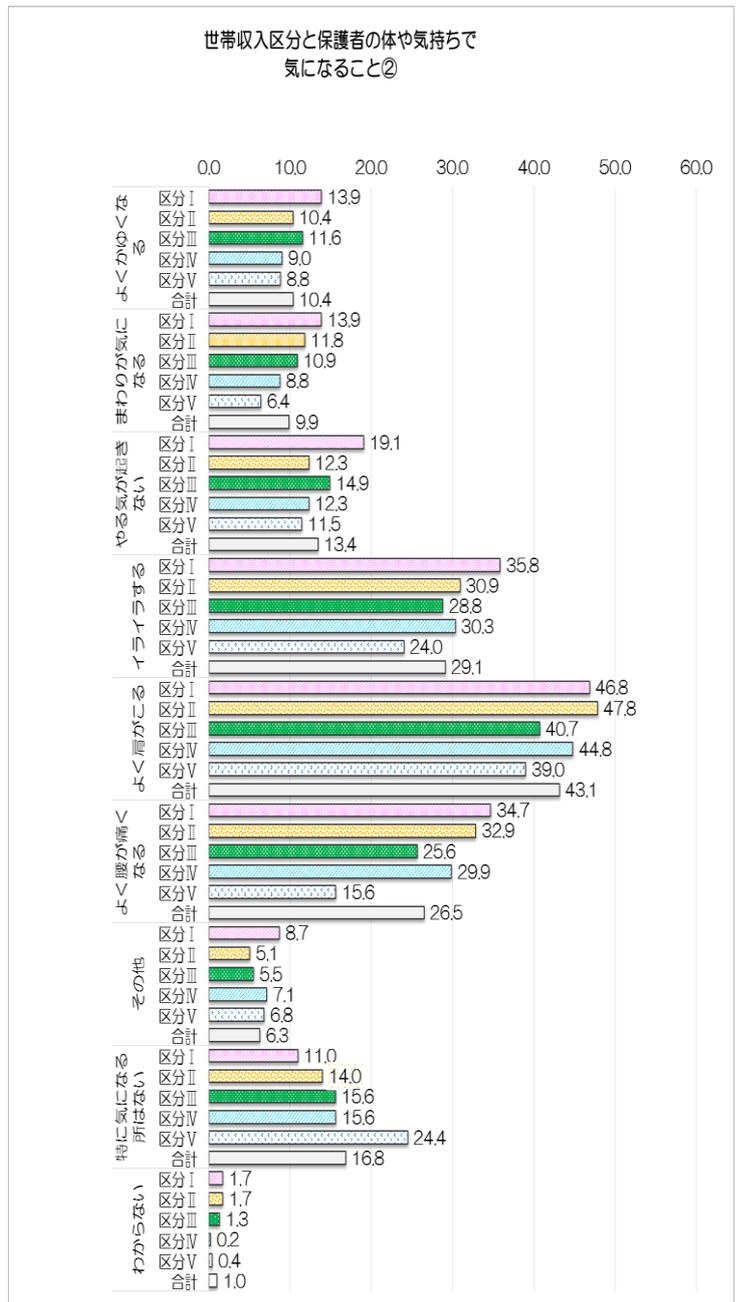
問 18 働いてる方全員のおおよその年間総収入はいくらですか

問 23 あなたは自分の身体や気持ちで気になることはありますか

保護者の気になること	収入区分	人数	%
ねむれない	区分Ⅰ	28	16.2
	区分Ⅱ	33	8.0
	区分Ⅲ	33	5.5
	区分Ⅳ	18	4.3
	区分Ⅴ	20	4.4
	合計	132	6.4
よく頭が痛くなる	区分Ⅰ	50	28.9
	区分Ⅱ	111	26.8
	区分Ⅲ	122	20.4
	区分Ⅳ	66	15.6
	区分Ⅴ	75	16.5
	合計	424	20.6
歯が痛い	区分Ⅰ	6	3.5
	区分Ⅱ	12	2.9
	区分Ⅲ	11	1.8
	区分Ⅳ	13	3.1
	区分Ⅴ	5	1.1
	合計	47	2.3
不安な気持ちになる	区分Ⅰ	58	33.5
	区分Ⅱ	79	19.1
	区分Ⅲ	102	17.1
	区分Ⅳ	62	14.7
	区分Ⅴ	52	11.5
	合計	353	17.1
ものを見づらい	区分Ⅰ	29	16.8
	区分Ⅱ	44	10.6
	区分Ⅲ	79	13.2
	区分Ⅳ	55	13.0
	区分Ⅴ	57	12.6
	合計	264	12.8
聞こえにくい	区分Ⅰ	15	8.7
	区分Ⅱ	23	5.6
	区分Ⅲ	32	5.4
	区分Ⅳ	25	5.9
	区分Ⅴ	17	3.7
	合計	112	5.4
よくお腹が痛くなる	区分Ⅰ	15	8.7
	区分Ⅱ	32	7.7
	区分Ⅲ	38	6.4
	区分Ⅳ	22	5.2
	区分Ⅴ	24	5.3
	合計	131	6.4
よく風邪をひく	区分Ⅰ	10	5.8
	区分Ⅱ	14	3.4
	区分Ⅲ	10	1.7
	区分Ⅳ	5	1.2
	区分Ⅴ	6	1.3
	合計	45	2.2



保護者の気になること	収入区分	人数	%
よくかゆくなる	区分Ⅰ	24	13.9
	区分Ⅱ	43	10.4
	区分Ⅲ	69	11.6
	区分Ⅳ	38	9.0
	区分Ⅴ	40	8.8
	合計	214	10.4
まわりが気になる	区分Ⅰ	24	13.9
	区分Ⅱ	49	11.8
	区分Ⅲ	65	10.9
	区分Ⅳ	37	8.8
	区分Ⅴ	29	6.4
	合計	204	9.9
やる気が起きない	区分Ⅰ	33	19.1
	区分Ⅱ	51	12.3
	区分Ⅲ	89	14.9
	区分Ⅳ	52	12.3
	区分Ⅴ	52	11.5
	合計	277	13.4
イライラする	区分Ⅰ	62	35.8
	区分Ⅱ	128	30.9
	区分Ⅲ	172	28.8
	区分Ⅳ	128	30.3
	区分Ⅴ	109	24.0
	合計	599	29.1
よく肩がこる	区分Ⅰ	81	46.8
	区分Ⅱ	198	47.8
	区分Ⅲ	243	40.7
	区分Ⅳ	189	44.8
	区分Ⅴ	177	39.0
	合計	888	43.1
よく腰が痛くなる	区分Ⅰ	60	34.7
	区分Ⅱ	136	32.9
	区分Ⅲ	153	25.6
	区分Ⅳ	126	29.9
	区分Ⅴ	71	15.6
	合計	546	26.5
その他	区分Ⅰ	15	8.7
	区分Ⅱ	21	5.1
	区分Ⅲ	33	5.5
	区分Ⅳ	30	7.1
	区分Ⅴ	31	6.8
	合計	130	6.3
特に気になる所はない	区分Ⅰ	19	11.0
	区分Ⅱ	58	14.0
	区分Ⅲ	93	15.6
	区分Ⅳ	66	15.6
	区分Ⅴ	111	24.4
	合計	347	16.8
わからない	区分Ⅰ	3	1.7
	区分Ⅱ	7	1.7
	区分Ⅲ	8	1.3
	区分Ⅳ	1	0.2
	区分Ⅴ	2	0.4
	合計	21	1.0



保護者の身体や気持ちで気になることについて、収入区分別にみると、「ねむれない」、「よく頭が痛くなる」、「不安な気持ちになる」、「まわりが気になる」、「やる気が起きない」、「イライラする」の項目において、区分Ⅰが最も高い割合となっています。

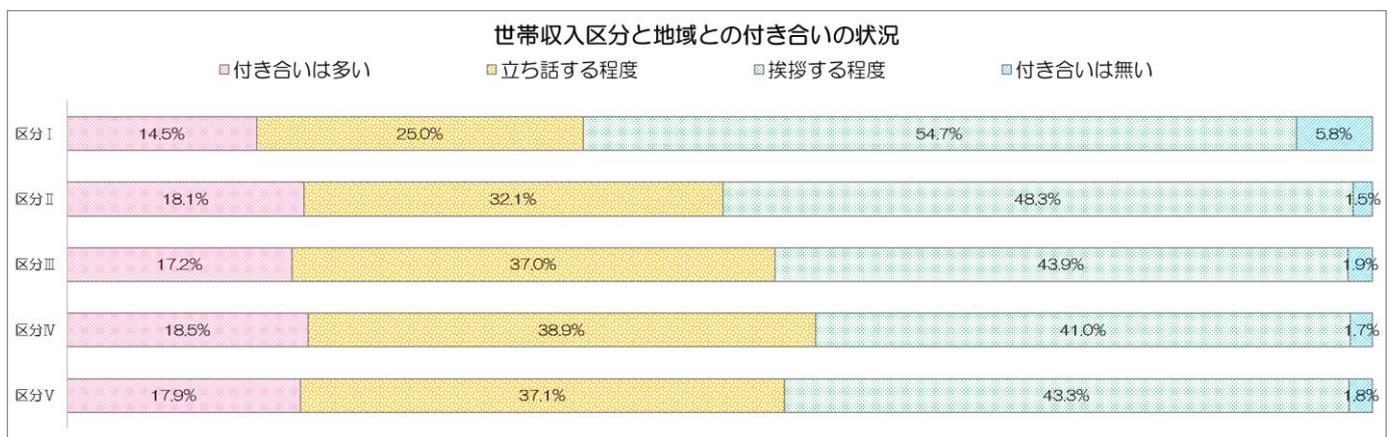
(8) 世帯収入区分と地域との付き合いの状況

(保護者票問 18×保護者票問 24)

問 18 働いてる方全員のおおよその年間総収入はいくらですか

問 24 あなたは、地域での付き合いをどの程度していますか

	問24								合計	
	付き合いは多い		立ち話をする程度		あいさつをする程度		付き合いはない			
計	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
区分Ⅰ	25	14.5%	43	25.0%	94	54.7%	10	5.8%	172	100.0%
区分Ⅱ	74	18.1%	131	32.1%	197	48.3%	6	1.5%	408	100.0%
区分Ⅲ	102	17.2%	219	37.0%	260	43.9%	11	1.9%	592	100.0%
区分Ⅳ	78	18.5%	164	38.9%	173	41.0%	7	1.7%	422	100.0%
区分Ⅴ	81	17.9%	168	37.1%	196	43.3%	8	1.8%	453	100.0%
合計	360	17.6%	725	35.4%	920	44.9%	42	2.1%	2047	100.0%



保護者の地域との付き合いの程度について、収入区分別にみると、区分Ⅰでは、「あいさつをする程度」が54.7%と最も高い割合になっています。

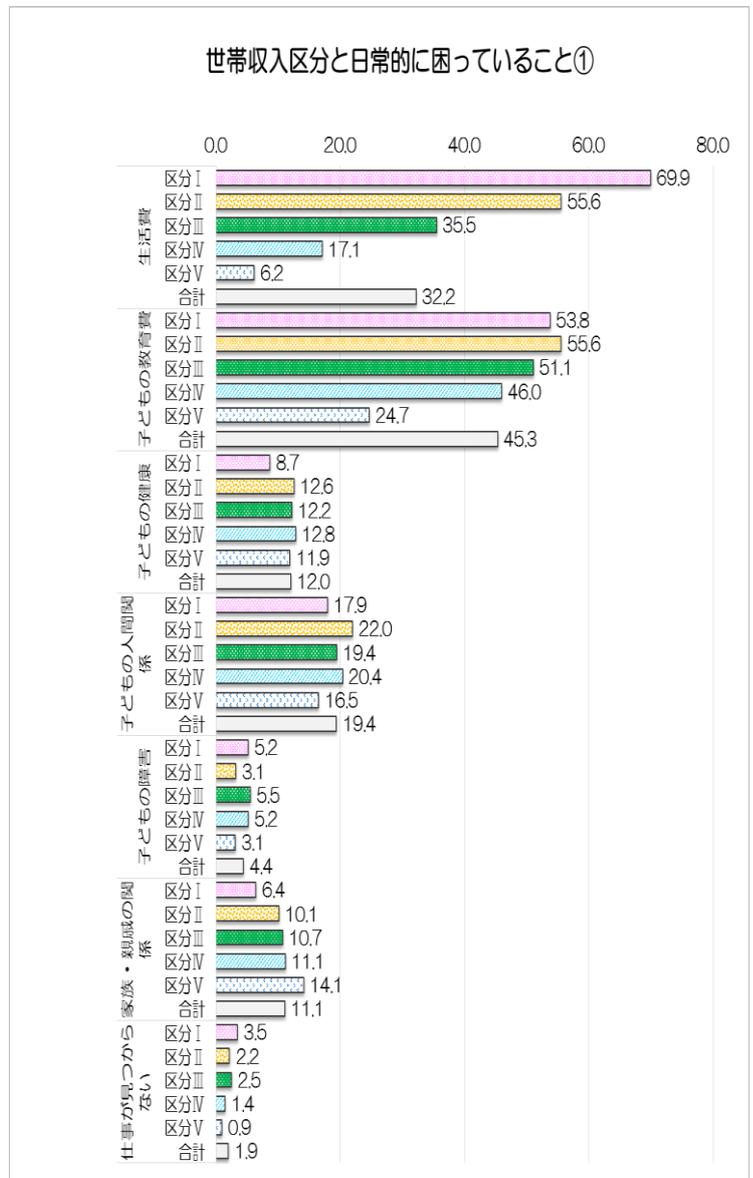
(9) 世帯収入区分と日常の困りごと

(保護者票問 18×保護者票問 25)

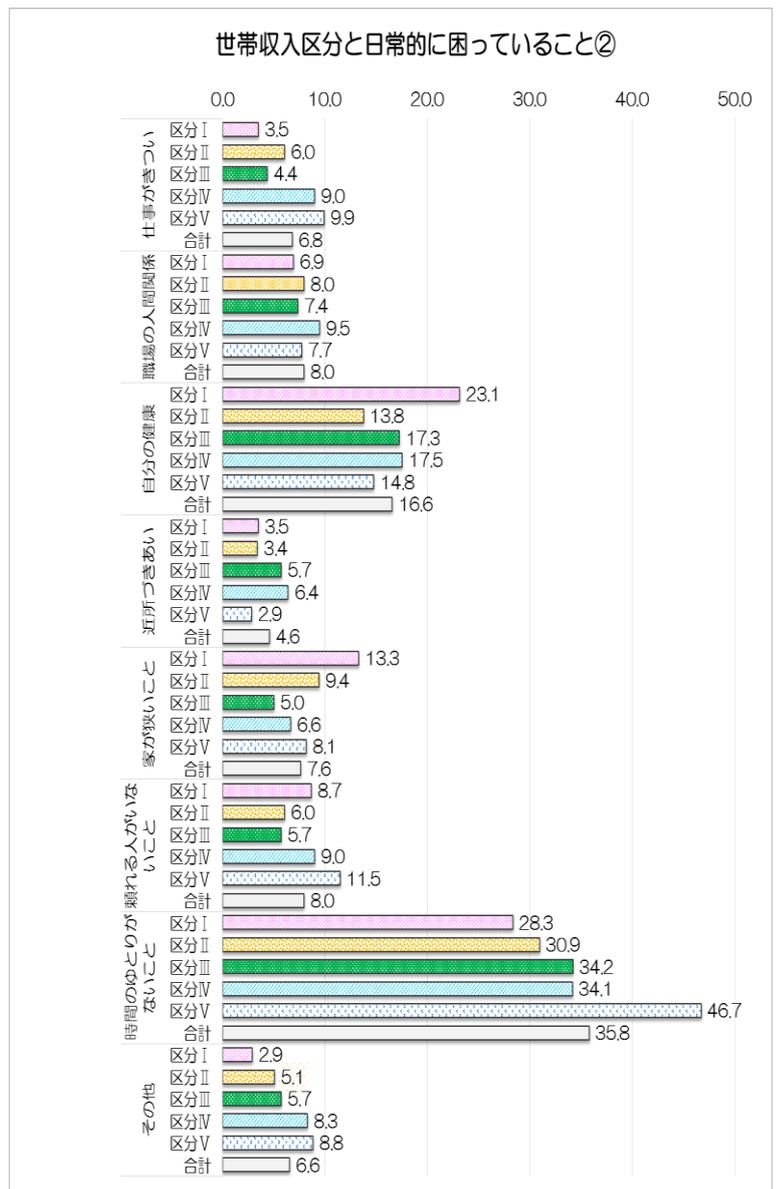
問 18 働いてる方全員のおおよその年間総収入はいくらですか

問 25 あなたが日常的に困っていることはどんなことですか

日常的に困っていること	収入区分	人数	%
生活費	区分Ⅰ	121	69.9
	区分Ⅱ	230	55.6
	区分Ⅲ	212	35.5
	区分Ⅳ	72	17.1
	区分Ⅴ	28	6.2
	合計	663	32.2
子どもの教育費	区分Ⅰ	93	53.8
	区分Ⅱ	230	55.6
	区分Ⅲ	305	51.1
	区分Ⅳ	194	46.0
	区分Ⅴ	112	24.7
	合計	934	45.3
	子どもの健康	区分Ⅰ	15
区分Ⅱ		52	12.6
区分Ⅲ		73	12.2
区分Ⅳ		54	12.8
区分Ⅴ		54	11.9
合計		248	12.0
子どもの人間関係	区分Ⅰ	31	17.9
	区分Ⅱ	91	22.0
	区分Ⅲ	116	19.4
	区分Ⅳ	86	20.4
	区分Ⅴ	75	16.5
	合計	399	19.4
子どもの障害	区分Ⅰ	9	5.2
	区分Ⅱ	13	3.1
	区分Ⅲ	33	5.5
	区分Ⅳ	22	5.2
	区分Ⅴ	14	3.1
	合計	91	4.4
家族・親戚の関係	区分Ⅰ	11	6.4
	区分Ⅱ	42	10.1
	区分Ⅲ	64	10.7
	区分Ⅳ	47	11.1
	区分Ⅴ	64	14.1
	合計	228	11.1
仕事が見つからない	区分Ⅰ	6	3.5
	区分Ⅱ	9	2.2
	区分Ⅲ	15	2.5
	区分Ⅳ	6	1.4
	区分Ⅴ	4	0.9
	合計	40	1.9



日常的に困っていること	収入区分	人数	%
仕事がつい	区分Ⅰ	6	3.5
	区分Ⅱ	25	6.0
	区分Ⅲ	26	4.4
	区分Ⅳ	38	9.0
	区分Ⅴ	45	9.9
合計	140	6.8	
職場の人間関係	区分Ⅰ	12	6.9
	区分Ⅱ	33	8.0
	区分Ⅲ	44	7.4
	区分Ⅳ	40	9.5
	区分Ⅴ	35	7.7
合計	164	8.0	
自分の健康	区分Ⅰ	40	23.1
	区分Ⅱ	57	13.8
	区分Ⅲ	103	17.3
	区分Ⅳ	74	17.5
	区分Ⅴ	67	14.8
合計	341	16.6	
近所づきあい	区分Ⅰ	6	3.5
	区分Ⅱ	14	3.4
	区分Ⅲ	34	5.7
	区分Ⅳ	27	6.4
	区分Ⅴ	13	2.9
合計	94	4.6	
家が狭いこと	区分Ⅰ	23	13.3
	区分Ⅱ	39	9.4
	区分Ⅲ	30	5.0
	区分Ⅳ	28	6.6
	区分Ⅴ	37	8.1
合計	157	7.6	
頼れる人がいないこと	区分Ⅰ	15	8.7
	区分Ⅱ	25	6.0
	区分Ⅲ	34	5.7
	区分Ⅳ	38	9.0
	区分Ⅴ	52	11.5
合計	164	8.0	
時間のゆとりがないこと	区分Ⅰ	49	28.3
	区分Ⅱ	128	30.9
	区分Ⅲ	204	34.2
	区分Ⅳ	144	34.1
	区分Ⅴ	212	46.7
合計	737	35.8	
その他	区分Ⅰ	5	2.9
	区分Ⅱ	21	5.1
	区分Ⅲ	34	5.7
	区分Ⅳ	35	8.3
	区分Ⅴ	40	8.8
合計	135	6.6	



日常的に困っていることについてのうち、生活費については、区分Ⅰが 69.9%と最も高い割合になっています。子どもの教育費については、区分Ⅴが 24.7%と最も低い割合になっています。また、区分Ⅴでは、時間のゆとりがないことと回答した方が 46.7%と最も高い割合になっています。

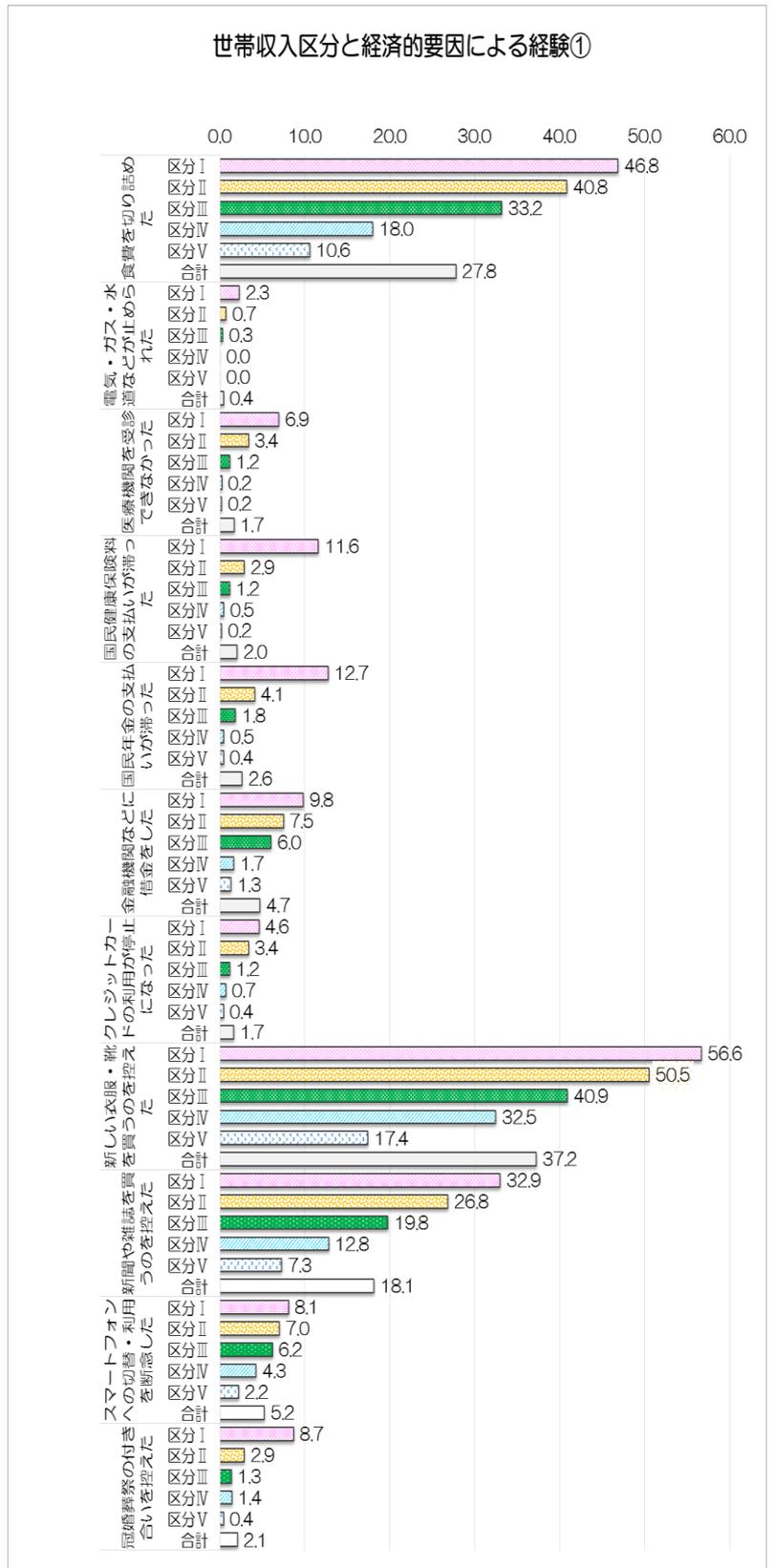
(10) 世帯収入区分と経済的要因による経験 (保護者票問 18×保護者票問 26)

問 18 働いてる方全員のおおよその年間総収入はいくらですか

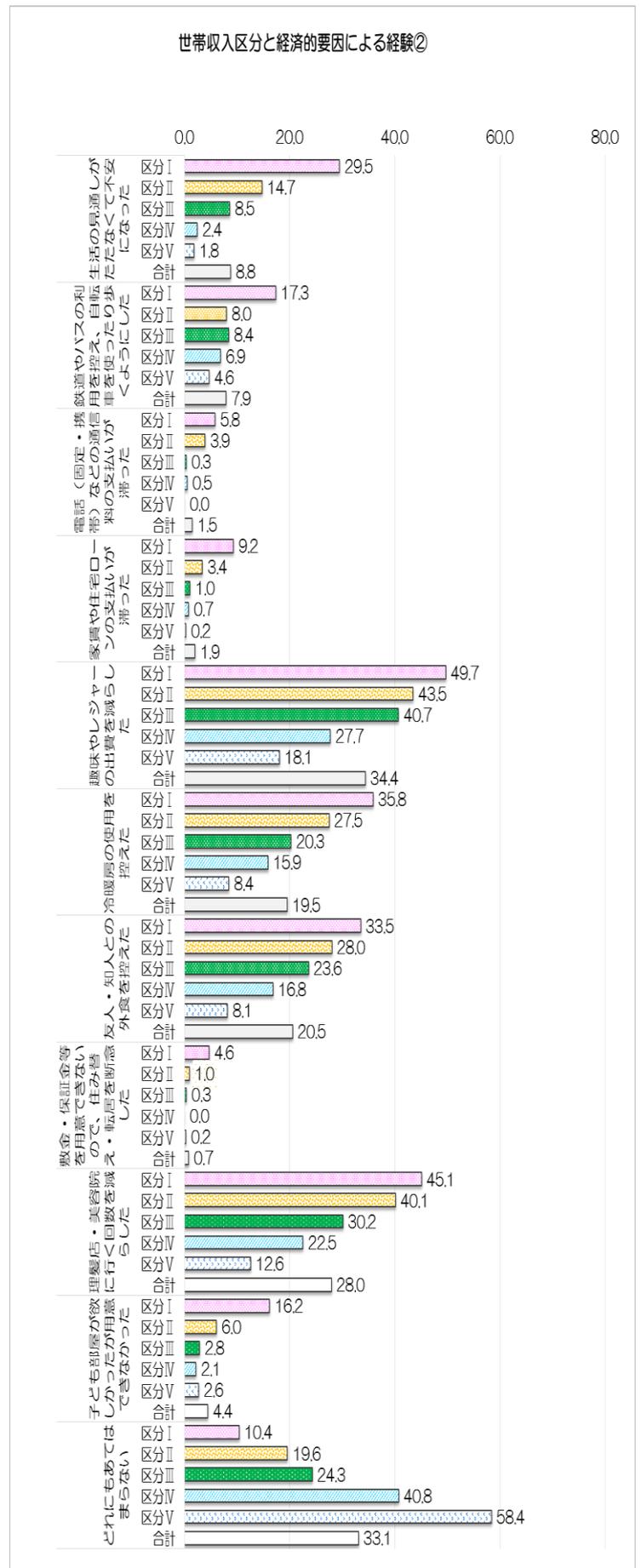
問 26 あなたの世帯では経済的な理由で、次のような経験をされたことが

ありますか

経済的理由による	収入区分	人数	%
食費を切り詰めた	区分Ⅰ	81	46.8
	区分Ⅱ	169	40.8
	区分Ⅲ	198	33.2
	区分Ⅳ	76	18.0
	区分Ⅴ	48	10.6
	合計	572	27.8
電気・ガス・水道などが止められた	区分Ⅰ	4	2.3
	区分Ⅱ	3	0.7
	区分Ⅲ	2	0.3
	区分Ⅳ	0	0.0
	区分Ⅴ	0	0.0
	合計	9	0.4
医療機関を受診できなかった	区分Ⅰ	12	6.9
	区分Ⅱ	14	3.4
	区分Ⅲ	7	1.2
	区分Ⅳ	1	0.2
	区分Ⅴ	1	0.2
	合計	35	1.7
国民健康保険料の支払いが滞った	区分Ⅰ	20	11.6
	区分Ⅱ	12	2.9
	区分Ⅲ	7	1.2
	区分Ⅳ	2	0.5
	区分Ⅴ	1	0.2
	合計	42	2.0
国民年金の支払いが滞った	区分Ⅰ	22	12.7
	区分Ⅱ	17	4.1
	区分Ⅲ	11	1.8
	区分Ⅳ	2	0.5
	区分Ⅴ	2	0.4
	合計	54	2.6
金融機関などに借金をした	区分Ⅰ	17	9.8
	区分Ⅱ	31	7.5
	区分Ⅲ	36	6.0
	区分Ⅳ	7	1.7
	区分Ⅴ	6	1.3
	合計	97	4.7
クレジットカードの利用が停止になった	区分Ⅰ	8	4.6
	区分Ⅱ	14	3.4
	区分Ⅲ	7	1.2
	区分Ⅳ	3	0.7
	区分Ⅴ	2	0.4
	合計	34	1.7
新しい衣服・靴を買うのを控えた	区分Ⅰ	98	56.6
	区分Ⅱ	209	50.5
	区分Ⅲ	244	40.9
	区分Ⅳ	137	32.5
	区分Ⅴ	79	17.4
	合計	767	37.2
新聞や雑誌を買うのを控えた	区分Ⅰ	57	32.9
	区分Ⅱ	111	26.8
	区分Ⅲ	118	19.8
	区分Ⅳ	54	12.8
	区分Ⅴ	33	7.3
	合計	373	18.1
スマートフォンへの切替・利用を断念した	区分Ⅰ	14	8.1
	区分Ⅱ	29	7.0
	区分Ⅲ	37	6.2
	区分Ⅳ	18	4.3
	区分Ⅴ	10	2.2
	合計	108	5.2
冠婚葬祭の付き合いを控えた	区分Ⅰ	15	8.7
	区分Ⅱ	12	2.9
	区分Ⅲ	8	1.3
	区分Ⅳ	6	1.4
	区分Ⅴ	2	0.4
	合計	43	2.1



経済的理由による	収入区分	人数	%
生活の見通しがた たなくて不安に なった	区分Ⅰ	51	29.5
	区分Ⅱ	61	14.7
	区分Ⅲ	51	8.5
	区分Ⅳ	10	2.4
	区分Ⅴ	8	1.8
	合計	181	8.8
鉄道やバスの利用 を控え、自転車を使 ったり歩くように した	区分Ⅰ	30	17.3
	区分Ⅱ	33	8.0
	区分Ⅲ	50	8.4
	区分Ⅳ	29	6.9
	区分Ⅴ	21	4.6
	合計	163	7.9
電話（固定・携 帯）などの通信料 の支払いが滞った	区分Ⅰ	10	5.8
	区分Ⅱ	16	3.9
	区分Ⅲ	2	0.3
	区分Ⅳ	2	0.5
	区分Ⅴ	0	0.0
	合計	30	1.5
家賃や住宅ロー ンの支払いが滞った	区分Ⅰ	16	9.2
	区分Ⅱ	14	3.4
	区分Ⅲ	6	1.0
	区分Ⅳ	3	0.7
	区分Ⅴ	1	0.2
	合計	40	1.9
趣味やレジャーの 出費を減らした	区分Ⅰ	86	49.7
	区分Ⅱ	180	43.5
	区分Ⅲ	243	40.7
	区分Ⅳ	117	27.7
	区分Ⅴ	82	18.1
	合計	708	34.4
冷暖房の使用を控 えた	区分Ⅰ	62	35.8
	区分Ⅱ	114	27.5
	区分Ⅲ	121	20.3
	区分Ⅳ	67	15.9
	区分Ⅴ	38	8.4
	合計	402	19.5
友人・知人との外 食を控えた	区分Ⅰ	58	33.5
	区分Ⅱ	116	28.0
	区分Ⅲ	141	23.6
	区分Ⅳ	71	16.8
	区分Ⅴ	37	8.1
	合計	423	20.5
敷金・保証金等を 用意できないの で、住み替え・転 居を断念した	区分Ⅰ	8	4.6
	区分Ⅱ	4	1.0
	区分Ⅲ	2	0.3
	区分Ⅳ	0	0.0
	区分Ⅴ	1	0.2
	合計	15	0.7
理髪店・美容院に 行く回数を減らし た	区分Ⅰ	78	45.1
	区分Ⅱ	166	40.1
	区分Ⅲ	180	30.2
	区分Ⅳ	95	22.5
	区分Ⅴ	57	12.6
	合計	576	28.0
子ども部屋が欲し かったが用意でき なかった	区分Ⅰ	28	16.2
	区分Ⅱ	25	6.0
	区分Ⅲ	17	2.8
	区分Ⅳ	9	2.1
	区分Ⅴ	12	2.6
	合計	91	4.4
どれにもあてはま らない	区分Ⅰ	18	10.4
	区分Ⅱ	81	19.6
	区分Ⅲ	145	24.3
	区分Ⅳ	172	40.8
	区分Ⅴ	265	58.4
	合計	681	33.1



経済的要因による経験のうち、区分Ⅰでは「食費を切り詰めた」、「医療機関を受診できなかった」、「国民健康保険料の支払いが滞った」、「国民年金の支払いが滞った」、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」、「冠婚葬祭の付き合いを控えた」、「生活の見通しがたたなくて不安になった」、「鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした」、「電話（固定・携帯）などの通信料の支払いが滞った」、「趣味やレジャーの出費を減らした」、「友人・知人との外食を控えた」、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」、「子ども部屋が欲しかったが用意できなかった」等の項目で最も高い割合になっています。

1 世帯収入と生活等の実態のまとめ

本調査では、世帯の収入について、900万円以上と回答した世帯がすべての回答者の19.8%、無効回答や無回答等を除いた世帯を対象にすると22.0%を占めるなど高所得者層からの回答が多くなっています。このことから、今回の結果をもって、大津市全体の貧困状況を表すことは困難ではありますが、学校法人龍谷大学の協力のもと、回答者について、世帯収入を基準にした「5つの収入の階層区分」に分類して、それぞれの階層ごとの状況を比較することにより、各階層が抱えている課題や問題点などを確認することができました。

特に、世帯収入と生活等の実態については、本調査によって、一番収入が少ない世帯収入区分（以下、「収入区分」という。）が置かれている生活実態が明らかになりました。父の働き方を比較すると、収入区分Ⅰでは、父親が「正社員・正規職員」の割合が27.9%と、他の収入区分よりも低い割合であるという結果になりました。また、「父がいない」の割合については32.4%と、他の収入区分よりも高い割合の結果になりました。こうした父の働き方や不在といった問題が世帯の収入不足の要因の一つになったことが推測されます。また、「父親がいない」世帯イコール母子世帯ということになり、こうした世帯の多くが、収入区分Ⅰに存在し、収入が300万円未満の状況にあるということも、本調査によって明らかになっています。

暮らし向きに関する意識については、「大変苦しい」と回答した世帯は、収入区分Ⅰが45.0%と、他の収入区分と比べて最も高い割合となっていますが、世帯所得の中央値を上回る収入区分Ⅳにおいても、「やや苦しい」と回答した世帯が19.0%であり、収入区分Ⅱや収入区分Ⅲの世帯においても、多いことがわかりました。

生活の状況と健康状態との関連について目を向けますと、保護者については、収入区分別に健康状態が「よい」と「どちらかといえばよい」についてみると、収入区分Ⅰでは、「よい」が30.4%（全体42.1%）、「どちらかといえばよい」が13.5%

（全体 21.0％）とどちらも低い割合であることが判明しました。さらに、身体や気持ちで気になることに関する質問では、収入区分Ⅰの人は、身体的なことよりも、気持ちに関する項目において、他の収入区分の人より割合が高いことが分かりました。子どもへの同様の質問についても、保護者の収入区分別回答と類似の傾向を示しており、気持ちに関する項目が、他の収入区分の子どもより高い割合の結果になったことから、世帯の収入が保護者や子どもの健康にも影響を及ぼしていることが推測されます。